

西成区「あいりん地域のまちづくり」 第4回労働施設検討会議 議事要旨

1 日 時 平成28年3月2日(水) 午後6時45分～午後8時30分

2 場 所 西成区役所 4階 4-6会議室

3 出席者

(有識者2名)

寺川近畿大学准教授

ありむら釜ヶ崎のまち再生フォーラム事務局長

(行政機関11名)

大阪労働局 大谷会計課長補佐、五代儀職業対策課長補佐、ほか2名

大阪府商工労働部雇用推進室労政課 地村参事、芝課長補佐、ほか3名

西成区役所事業調整課 室田課長代理、狩谷係長

(地域メンバー17名)

川村萩之茶屋第2町会長

吉田萩之茶屋第4町会長

西口萩之茶屋第6町会長

茂山萩之茶屋第9町会長

田中萩之茶屋社会福祉協議会会長

住谷今宮社会福祉協議会会長

松繁釜ヶ崎資料センター

山田大阪府簡易宿所生活衛生同業組合理事長

山田NPO法人釜ヶ崎支援機構理事長

山田社会福祉法人大阪自彊館第二事業部長

村井西成区商店会連盟会長

中岡公益財団法人西成労働福祉センター業務執行理事

吉岡釜ヶ崎キリスト教協友会共同代表

本田釜ヶ崎反失業連絡会共同代表

野崎全日本港湾労働組合関西地方本部建設支部西成分会代表

梅澤代理(稲垣釜ヶ崎地域合同労働組合執行委員長)

水野日本寄せ場学会運営委員

4 議 題

労働施設の耐震化について

5 議事要旨

(1) 進行の概要

前回会議での質問について、事務局(大阪労働局、大阪府)から回答。

続いて、意見交換を実施。

(2) 主な議事の概要

《国府の役割分担→今後の機能》

・国、府、市のこれまでのやり方について、反省点等の検証はされてきたのか。

事) 連絡協議会があり、そこで議論、協議をしている。それぞれの対策について、その時代のニーズに沿って取り組んできた経緯がある。

- ・ 今後、本移転に関し、まちづくりの中で国、府は協議を通して機能などを議論していくつもりはあるか。地域で今後も意見を交わしていくと信じていいのか。

有) これまでは四者協議会(国、府、市、警察)でよかったが、これからは地元を入れた五者でいくべき。その土台がここ(当会議)にある。これを母体にしていくべき。

- ・ あいりん総合センターとして、国、府、市でやっているのは、上に住宅と病院があるから。今後、議論するにあたっては、「労働施設」をどうするか。そういう意味では市は関係無いのではないか。仮移転は、とりあえず国と府、本移転の時に市が参加すればいいのではないか。

有) 知事の命題は、まずは安全確保。一方、労働センターの本移転の議論をじっくりやっていけるか、同時並行でできるのかを考えたい。

《職安の職業紹介、職業開拓》

- ・ あいりん職安は、具体的にどのように職業紹介をしていくのか？
- ・ 住所のない人はどのようにするのか。
- ・ 求人開拓についても具体的説明を。

事) 職業紹介の具体的な内容は検討中であり、お話できる状況にはない。

求人開拓については、印紙購入通帳の交付事業所を対象に始めたい。

住民票については、職安で手帳を取るために必要。代わりになるものとしては運転免許証、国民健康保険証など。これについては区役所や市役所へ相談願いたい。

- ・ 野宿者が仕事をしたい場合はどうすればいいのか。

事) 求職申込をしてもらえれば、紹介に乗る。求職と住民票の取得は、別の話。

手帳発給には住民票が必要。国としては、それ以上のフォローは困難。区役所や市役所案件である。

《市がリードする議論、提案への受け止め》

事) まず対応する案件として、仮移転是非の決定に関する議論を進めていきたい。

これを優先的に行うことと今後2～3年かけて、新規建設する労働施設について、皆様の意見を聞きながら議論したい。

《知事の発言に伴う府の方針》

- ・ 機能の一時的な移設をするのであれば、周辺用地の情報等は。土地を使わせてもらう準備はしているのか。

事) 昨年の会議で出た候補地として、公園の面積等については市から情報を聞いている。民有地については情報がないため、南海電鉄に情報をお尋ねしているところ。

《労働施設における利用者安全確保(仮移転について)》

- ・ 地域からすれば、駅前のアクセスの良さを活用し、大阪市は大きな視野で地域を発展させるためにどうするのか考えてほしい。
- ・ 労働センターが駅前にドンとあるときれいにならない。
- ・ あの地域が発展してきたのは労働者が集まってきたから。それで地域が潤った。
- ・ どっかに追いやれとは言っていない。小さくしろとも言っていない。中に入ったかどうかと言っている。労働者も減っている。

- ・どれだけ子供や家族層を呼び込むか。労働の前に本当はそれを考えるべき。この町がどうすれば生き残れるか。
- ・労働センターは耐震がダメなのだから、耐震か建替えかをまず決議をしてはどうか。私個人的には、建替えという意見を持っている。
- 有) 命にかかわる問題なので、知事の命題として仮移転を早急にとということが一つ。一方で、本移転について、機能も今後のあり方も考えていかないといけない。
- 事) 事務局としては、命を守るのが早急の課題。一旦は外に動くしか方法はない。
- ・現施設を改修する(案1)の場合、鉄骨を入れると、今のように使えないと聞いた。
- ・上に病院が乗っているので、いくら耐震化をしても耐用年数がだめ。46年たっている。例え、現施設を耐震改修しても、いずれは建替えをしないとけない。
- 有) 現実的には、現施設を改修する(案1)は難しいということになるのか。
- ・スケジュール案の1・2・3のうち、(案2):内部仮移転案)は除外すると決めたらいいのではないかと。規模については、また考えればいい。
- ・現施設を改修する(案1)は、今の施設を補強するということか。そうなれば、コストもあるし、(案3)しかない。案3を基準に考えたらいいのではないかと。考える柱がほしい。
- 有) (案)の1・2・3で、急ぐ、命を守る、ということならば(案2)は除外、(案1)はコスト面、耐用年数で△。となると、案3がいいのかと。
- 次回は、本移転議論と仮移転議論を同時並行で議論できるのか、仮移転するとしたら、どういった場所があるのかを議論したい。
- (案3)で決定ではないが、これをベースに議論をしたい。
- ・現センターを壊して仮移転するのは、建替え後のプランの明示と同時並行でないと不安。建替えた後のビジョンと壊すということは、同時並行でやってほしい。センター跡地北側は大阪市に提供することを前提に話が進んでいるようだが、まちづくりの中で、市としてどれぐらいの面積が北側跡地に必要なのか明示して欲しい。
- 事) 利用者の安全確保がひとつの問題。別に、敷地エリア内での回しの手法の問題。
- 有) (案3)の外部仮移転を検討していただくこととしてよいか。
- 仮移転の候補地は、どこがあるのか。候補地を出す必要がある。

【まとめ】

次回の検討項目を確認

- ・「スケジュール(案)の第3案(いったん外部へ仮移転し新設する案)をベースに検討する。」
- ・「外部仮移転については次回決定する。」

⇒地域メンバー

検討項目について、これで進めていいのかを委員が持ち帰って検討願う。

⇒事務局

仮移転候補地の情報を示すこと。

具体的な仮移転シミュレーションを示すこと。

6 第5回労働施設検討会議の日程について

次回検討会議 → 3月22日(火)午後6時45分～ (後日、開催を案内。)